

The 29th Annual CSP Workshop 参加報告

相關基礎科学系 博士課程1年 西川 宜彦 (福島研)

私は、「博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」をいただき、2016年2月22-26日にジョージア大学で開催された The 29th Annual CSP Workshop に参加し、口頭発表を行った。本研究会は計算物理学の研究会として毎年開催され、毎回この分野の代表的な研究者が数多く参加している。今回の研究会では、30人ほどの口頭発表と10人ほどのポスター発表があり、量子系からタンパク質などの生物物理まで幅広い分野に関する発表が行われた。参加者なら誰でも講演中でも質問ができる自由な雰囲気の研究会で、各発表の間にも十分な時間が設けられていたため、非常に活発な議論が行われていた。

私は今回、event-chain モンテカルロアルゴリズムと呼ばれる近年提案された新たなモンテカルロアルゴリズムとその性能、およびその応用について発表を行った。発表時間が短かくあまり詳しい内容まで話すことができなかったものの、発表中と発表後に多くの参加者から様々な質問やコメントがあり、興味を持ってもらうことができた。また、普段あまり触れることのない分野や最新の研究に関する数多くの興味深い発表と分野を代表する研究者の議論を聞くことができ、この研究会へ参加したことは非常に意義があったと感じている。

アメリカの大学への訪問は今回が初めてだったため、日本とは異なる学生生活や研究会の雰囲気が非常に印象的だった。また、会場のジョージア大学があるジョージア州のアセンズは快適な町で、研究会への参加で得られた経験も含めて忘れがたい訪問になった。この研究会への参加のため金銭的な援助をしてくださった本助成プログラムに感謝したい。

